■ 国立公園 大山(だいせん)周辺 4月~8月/大山町・伯耆町・江府町

■ ロケーションの紹介

大山周辺はドライブとしてのロケーションが美しく、春から初夏は桜や水田の景色が見られます。 桜並木のこの道路は、県内でも地元周辺のしか知らない隠れた名所です。 田植え時期、水田に映る「逆さ大山」は、どこか懐かしい日本の原風景を思い浮かばせます。



大山レークホテルの桜と大野池(4月上旬) /大山町鈑戸(たたらど)



田園農道・大山(5月)/大山町坊領(ぼうりょう)



田園風景・県道482号線 (5月)/江府町



大山・博労座(ばくろうざ)駐車場(5月上旬)/大山町



森の国(8月)/大山町



茅葺小屋(8月)/江府町御机(みつくえ)

■交通アクセス

米子駅から大山町豊房まで、山陰道、米子自動車道利用して車でそれぞれ約30分 米子鬼太郎空港から大山町観光協会・江府町御机まで、車で約45分~60分 中国自動車道 落合JCT~米子自動車道(有料区間)溝口IC下りる~大山町観光協会まで、車で約60分

■ 国立公園 大山(だいせん)周辺②/大山町・伯耆町・江府町



大山のろし台(10月・晴れ)/大山町



大山ブナ林の紅葉(11月・くもり)/大山町



貝田地区の田園(11月)/江府町



町立江府中学校(10月下旬)/江府町

■ ロケーションの紹介

大山山麓のブナ林は西日本最大規模。春の新緑、秋の黄葉。四季折々に美しいブナに彩られる大山。 景色を楽しみながらドライブや散策も人気です。

大山が富士山の姿のように見える伯耆町には、日本が誇る世界的写真家、故・植田正治氏の作品を収蔵、展示するミュージアムがあります。



植田正治写真美術館(11月)/伯耆町



植田正治写真美術館前(11月)/伯耆町

■交通アクセス

米子駅から植田正治写真美術館~鍵掛峠まで、車で約20~40分

米子鬼太郎空港から大山町観光協会まで、車で約45分

中国自動車道 落合JCT~米子自動車道(有料区間)溝口IC下りる~大山町観光協会まで、車で約1時間

■ 国立公園 大山(だいせん)周辺 おにっ子ランド/伯耆町(ほうきちょう)

■ ロケーションの紹介

おにっ子ランドのランドマークとなっている巨大な鬼の銅像は、伯耆町に伝わるに日本最古の鬼伝説で、第7代孝霊天皇の鬼退治伝説に登場する「大牛蟹(おおうしかに)」をイメージして作られた。 公園内にあるエンジ色の屋根と黄色の壁が印象的な建物は、利用者の休憩施設として使用している。 ダイナミックなローラー滑り台は、現在、滑り台の中腹からのみ使用することが可能。 営業期間は4月~11月。大型バス駐車可能。トイレ施設あり。



















■交通アクセス

米子駅からおにっ子ランドまで県道316号、1号線を利用して、車で約30分 米子鬼太郎空港からおにっ子ランドまで国道431号線を利用して、車で約50分 中国自動車道 落合JCT~米子自動車道(有料区間)江府IC下りる~おにっ子ランドまで、車で約60分

■ 国立公園 大山(だいせん)周辺 大山まきば みるくの里/伯耆町(ほうきちょう)

■ ロケーションの紹介

伯耆町内から見える大山は裾野のラインが美しく、「伯耆富士」と呼ばれている。

みるくの里施設の背後には大山、前には美しい緑の芝生と弓の様に曲がった海岸線の弓ヶ浜半島が見渡せるロケーションとなっている。

大山の麓は古くから牛の放牧場があり、みるくの里周辺でも見ることが出来る。

地元にも工場がある、大手飲料メーカーTVCMのロケ実績(1シーン)あり。















■交通アクセス

米子駅から大山まきばみるくの里まで、県道を利用して車で約30分

米子鬼太郎空港から大山まきばみるくの里まで、車で約50分

中国自動車道 落合JCT~米子自動車道(有料区間)溝口IC下りる~みるくの里まで、車で約60分

■ 国立公園 大山(だいせん)周辺 旧日光小学校/伯耆町(ほうきちょう)

■ ロケーションの紹介

1996年~2016年まで町立小学校として使用。

閉校後の現在は、日光地区公議会事務局として公民館や交流スペー・研修宿泊施設としても利用されている。

校舎は大山を望む高地に位置し、裏にある広い校庭は他に無いロケーションである。

冬季は、積雪により雪深い地域になる。

















校舎裏側には広い校庭と、背景には大山が見える。 緩やかな坂とワインディングは、車CMにオススメ





■交通アクセス

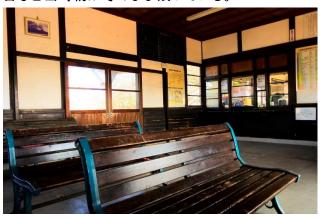
米子駅から伯耆町日光まで、米子自動車道(有料区間)溝口IC下りる~旧日光小学校まで、車で約50分米子鬼太郎空港~米子自動車道(有料区間)溝口IC下りる~旧日光小学校まで、車で約50分中国自動車道落合JCT~米子自動車道(有料区間)溝口IC下りる~旧日光小学校まで、車で約60分

■ 国立公園 大山(だいせん)周辺 /大山町

■ ロケーションの紹介

御来屋駅(みくりやえき):山陰鉄道発祥の地(明治35年11月1日)。 山陰最古の駅舎には、アンティークな駅舎内、荷置き台など当時物がそのまま残っている。





鳥取県フットボールセンター大山 夕陽の丘神田:大山の麓にあるサッカー場は広大なロケーションとなっている。人工芝フィールド1面、天然芝フィールド1面。





大山町納涼花火大会:御来屋(みくりや)漁港周辺で、航海の安全と豊漁を見守る「えびす神社」の「宵祭り」とあわせて開催される。打ち上げ花火は、空から降り注いでくるかのような迫力が見られる。





■交通アクセス

米子駅から大山町豊房・伯耆町日光まで、山陰道、米子自動車道利用して車でそれぞれ約30分米子鬼太郎空港からフットボールセンター大山まで、車で約60分

中国自動車道 落合JCT~米子自動車道(有料)溝口IC下る~フットボールセンター大山まで、車で約90分

お問合せ:鳥取県フィルムコミッション 電話:0857-39-2111/E-mail tottori-fc@tottori-guide.jp

■ 国立公園 大山(だいせん)周辺 古い町並み/大山町所子(だいせんちょうところご)

所子の集落は、大山から日本海に注ぐ川の水利を利用した田畑を生産基盤として発展した、伯耆地方の 伝統的な屋敷構えをもつ農村集落です。重要文化財門脇家住宅を始めとして近世から昭和初期にかけて 建築された大規模な主屋や附属屋等からなる農家が群として残っています。

















■交通アクセス

米子駅から大山町豊房・伯耆町日光まで、山陰道、米子自動車道利用して車でそれぞれ約30分 米子鬼太郎空港から大山町観光協会まで、車で約45分

中国自動車道 落合JCT~米子自動車道(有料区間)溝口IC下りる~大山町観光協会まで、車で約1時間

■ 国指定重要文化財 大神山神社奥宮(おおがみやまじんじゃ おくのみや)/大山町

■ ロケーションの紹介

大神山神社奥宮は、日本最大級の権現造りの神社で神仏混交の様式である。

正面の長廊は両翼約50メートルもあり、内部の柱等の金色は、日本最大級の白檀塗りで彫刻や彩色壁画が鮮やか。

奥宮のある大山は独立峰のため、天候が急変しやすい。麓では晴れていても、大山周辺では急な雷雨に

なることがよくある。



E面: 奥宮の裏で映画作品のワンシーンが撮影された。



神門: 扉が逆向きに開くので「逆さ門」と言われる。



左:弁財天社、正面:奥宮本殿、奥:大山 映画作品のワンシーンが撮影された場所。

■交通アクセス









米子自動車道JCTから県道24号線経由~大山博労座駐車場まで、車で約15分博労座駐車場から大神山神社奥宮まで徒歩で約20分